

当番世話人挨拶



深秋の候、皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

この度、第13回日本先進糖尿病治療研究会の当番世話人を担当させていただきましたことになりました西村理明でございます。

本研究会の当番世話人を拝命した直後から開催場所を検討し、お台場に会場を決定したときには思いもよらなかったことでありますが、7年後のオリンピックの会場の中心となる場所で本会を開けることを偶然のことながら光栄に思います。

私は、卒後20年、1型糖尿病の疫学並びにその治療の適正化に研究のフォーカスを当てて参りました。そのため、今回の研究会のテーマを「先進糖尿病治療の更なる発展を目指して」とさせていただきます。

具体的なプログラムについてですが、一般演題には多数応募いただき誠にありがとうございました。先進的な糖尿病治療への取り組みが発表されると信じております。

各社に共催いただく講演につきましては、2006年から私とその普及と応用に時間を割いてきた持続的に血糖値をモニターできる Continuous Glucose Monitoring (CGM) 機器の最新情報、インスリンの最新情報、インスリンポンプの最適化、さらには日本発の経口血糖降下薬の創薬プロセスについて、CGM で膵島移植・膵臓移植の血糖改善効果を見るとどうなるか、最後に、膵臓再生における iPS 研究の第一人者でいらっしゃる川口義弥先生に御講演いただくという、1日があっという間に過ぎてしまうのではないかと思うプログラムといたしました。

本会が、我が国における糖尿病学の発展に少しでも貢献できると幸甚です。

西村 理明

東京慈恵会医科大学 糖尿病・代謝・内分泌内科

第13回日本先進糖尿病治療研究会当番世話人